

2020年3月期 第3四半期決算説明会
主な質疑応答

Q: 3Qの営業利益について、全社ベースで社内計画未達とのことだが、事業別ではどうだったのか。

A: イメージングは、計画未達。国内で、消費増税による消費マインド冷え込み影響に加え、チェキ販売では、米国リテーラーの在庫抑制が発生した。ヘルスケアも計画未達。メディカルシステム事業で、消費増税の駆け込み需要の反動影響などを受け、減収による減益。マテリアルズは若干計画未達。刷版需要の減少が続くグラフィックシステム事業、市況が厳しいディスプレイ材料事業などが計画を下回った。ドキュメントは、国内販売は好調に推移するも、中国の景気減速や香港の政情不安の影響を受け、若干計画を下回った。

Q: チェキの3Q販売実績と、通期販売見通しを教えてください。

A: 3Qの販売台数実績は455万台、9ヶ月累計で720万台。最大市場である米国での販売について、3Qは主要リテーラーの在庫抑制によりセルインが対前年減少となった。一方、セルスルーは前年を上回っており、需要は引き続き堅調に推移している。4Qは、新製品効果も加わり、対前年30万台増となる180万台の販売を見込んでいる。通期の販売台数は900万台を見込む。

Q: 来年度に発表予定の中期経営計画の方向性を教えてください。

A: 次期中期経営計画は、ヘルスケア領域が中心となるだろう。同領域で中核事業であるメディカルシステム事業では、日立製作所の画像診断関連事業の買収を発表した(2020年7月買収完了予定)。製品ラインアップを拡充し、ワールドワイドで更なる拡販を進めていく。

以上